

和歌山県教育委員会
資料提供
令和7年9月3日



和歌山県立紀伊風土記の丘

令和7年度休館記念秋期特別展

はる

「遙かなる古墳時代の海へ—紀伊半島と海をめぐる交流—」の開催について

1 名称 令和7年度休館記念秋期特別展「遙かなる古墳時代の海へ—紀伊半島と海をめぐる交流—」

2 会期 令和7年10月4日(土)～令和7年12月7日(日)

3 会場 和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館 常設展示室

4 内容

岩橋千塚古墳群が築かれた今から1500年前、紀伊半島の人々は東西に接する海を通じ、東日本(太平洋—熊野灘)と西日本(瀬戸内海—紀伊水道)との交流を行いました。本展示では古墳時代を中心とした遙かなる海、その海を舞台とした人々の残した考古資料を取り上げます。

本展示の内容は令和10年度に開館予定の和歌山県立考古民俗博物館(仮称)における【展示室Ⅳ 紀伊半島と海】の展示内容「海と交流」とも関連します。令和7年度末で当館は一旦、休館しますが、新たに生まれ変わる当館の展示の一部としてご覧ください。

5 開館時間・休館日、入館料

開館時間 : 9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日 : 毎週月曜日(ただし、10月13日、11月3日、11月24日は開館)、10月14日(火)、11月4日(火)、11月25日(火)

入館料 : 一般400円(320円)、大学生240円(180円)／()内は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料(証明書の提示が必要)

※無料開放の日:10月4日(土)、11月15日(土)、11月16日(日)、11月22日(土)、12月2日(火)

見どころ1 長さ4.3m! 古墳時代の船3隻を展示。

果たして資料館に入るのか?

古墳時代の船3隻を展示します。中でも^{すやま}巢山古墳出土の^{そうそうせん}葬送船(長さ4.3m)は巨大古墳に^{まいごう}埋葬された有力者を運ぶ船です。このほか、^{きゅうほうじ}久宝寺遺跡出土船(長さ3.2m)、^{しとみやまた}節屋北遺跡出土船(長さ2.2m)も展示します。



巢山古墳出土葬送船(広陵町)【広陵町教育委員会蔵】

見どころ2 古墳時代の航路を探る。朝鮮半島に至る海の祭祀を紹介！

紀伊半島から瀬戸内海、朝鮮半島まで、海にかかわる各地の祭祀遺物を展示します。航海の安全や海の神を祀る祭祀をご紹介します。島や岬に点々と存在する海の祭祀遺跡を結ぶと、古墳時代の航路が復元できます。



向屋敷遺跡出土祭祀遺物（串本町）【串本町教育委員会蔵】

備前高島遺跡出土祭祀遺物（岡山市）【岡山理科大学蔵】

大木遺跡出土祭祀遺物（上島町）【上島町教育委員会蔵】



西日本から朝鮮半島における海の祭祀遺跡の分布

見どころ3 遠く離れた地で発見された資料から、海を介した交流を解明。

和歌山県田辺市と神奈川県三浦市からはほぼ同じ形・大きさ・素材材・作り方が同じ釣針が発見されています。約400km離れた二つの場所から発見された釣針からは、どのような関係が考えられるのでしょうか。様々な考古資料から海を介した交流について考えます。

鹿の角で作られた釣針

左：磯間岩陰遺跡（田辺市）出土釣針【文化庁蔵・田辺市保管】

中：海外第1洞穴遺跡出土釣針（三浦市）【三浦市蔵】

右：西庄遺跡出土釣針【和歌山県教育委員会蔵】



イベント 日本を代表する「古墳時代の海」研究者による特別展講演会を開催。

特別展会期中、5回にわたり秋期特別展関連講演会を開催し、国内を代表する研究者が王権、古墳、船、漁労具、製塩など様々な視点から「古墳時代の海」を語ります。(①10月12日(日)、②10月19日(日)、③11月2日(日)、④11月9日(日)、⑤11月16日(日)、詳しい内容・講師等についてはチラシ裏面をご覧ください)。このほか、学芸員による展示講座/展示解説(11月30日(日))を実施します。



海の大古墳・五色塚古墳(神戸市)【写真:神戸市教育委員会蔵】



海辺の洞穴墓・磯間岩陰遺跡(田辺市)【写真:田辺市教育委員会蔵】

(連絡先)

紀伊風土記の丘 学芸課

担当 田中

電話 073-471-6123